

交付運用報告書

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

<愛称> みどりのふたば

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2019年3月12日～2019年9月11日

第67期 決算日：2019年5月13日

第68期 決算日：2019年7月11日

第69期 決算日：2019年9月11日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第69期末 2019.9.11

基準価額 **9,698円**

純資産総額 **777百万円**

第67期～第69期
2019.3.12～2019.9.11

騰落率※ **△1.8%**

期中分配金合計 **90円**

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

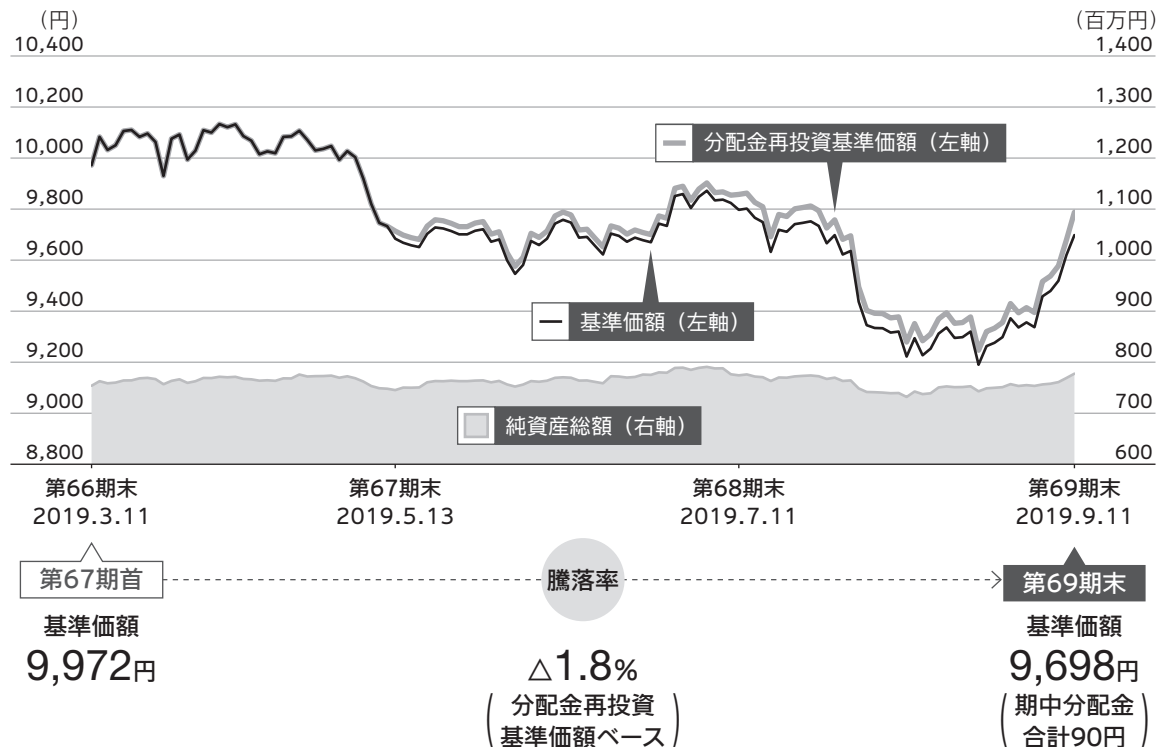
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年3月11日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

主要投資対象である「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」がともに下落したため、当期の分配金再投資基準価額は下落しました。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期中の騰落率は－1.4%となりました。

個別銘柄では、日本テレビホールディングス、日本たばこ産業、日本製鉄、ローソン、ツムラなどの保有銘柄が下落したことで基準価額は下落しました。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

期中の騰落率は－1.1%となりました。

各国の利回りが低下し債券価格が上昇したことから債券要因はプラスとなりましたが、円高による為替要因のマイナスが大きかったため、騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.725%** です。

項目	第67期～第69期 2019.3.12～2019.9.11		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	67円	0.690%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,726円です。
(投信会社)	(32)	(0.326)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(32)	(0.326)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.024	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{各期中の売買委託手数料}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.024)	
(c) その他費用	1	0.011	(c) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.008)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	70	0.725	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2014.9.11~2019.9.11



- 分配金再投資基準価額の推移は、2014年9月11日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

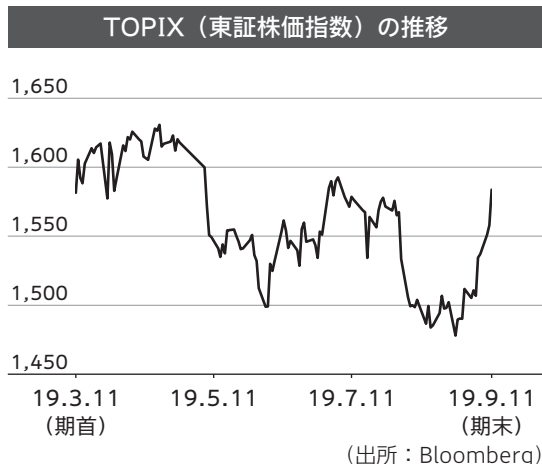
決算日	2014.9.11 決算日	2015.9.11 決算日	2016.9.12 決算日	2017.9.11 決算日	2018.9.11 決算日	2019.9.11 決算日
基準価額 (円)	10,700	10,733	9,559	10,373	10,212	9,698
期中分配金合計（税引前）(円)	-	1,120	180	720	320	180
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	-	10.8	△ 9.3	16.1	1.5	△ 3.3
純資産総額 (百万円)	237	327	432	534	703	777

● 投資環境

○国内株式市況

TOPIXは0.1%の上昇となりました。

期初は、FRB（米連邦準備理事会）の金融政策運営姿勢の柔軟化、中国による景気刺激策の発表等がプラス材料となる一方で、米欧の中央銀行による市場予想を上回る緩和姿勢を背景に米国長期金利が急低下し、長短金利の逆転から景気後退が連想されたために株価は概ね横ばいで推移しました。その後は、一部企業の決算下振れや、米国による対中追加関税の拡大、ファーウェイに対する制裁の公表等を受けて株価は急落しましたが、FRBへの利下げ期待の高まりや、米中通商協議の再開合意を受けて反発しました。期末にかけては、米中貿易摩擦の再燃を受けて再び相場は一変、リスクオフムードが広がり、円高、長期金利の下落も重しとなり株価は急落した後、米中通商協議が再開するとの報道をきっかけに反騰局面となりました。



○外国債券市況

・米国債券

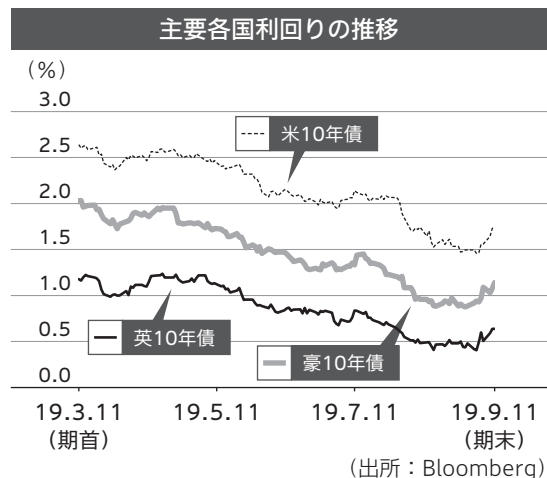
当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。米中貿易摩擦の激化や米国景気の鈍化への懸念が高まる中、FRBによる利下げ観測が強まったことを受けて、利回りは大幅に低下しました。

・英国債券

当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。BOE（イングランド銀行）が政策金利を据え置く中、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感や、世界的な債券利回りの低下などを受けて、利回りは大幅に低下しました。

・豪州債券

当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。米中貿易摩擦の激化懸念やRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測の高まりなどを受けて、利回りは大幅に低下しました。



○為替市況

・米ドル円

当期末は前期末に比べて円高米ドル安となりました。米中貿易摩擦の激化懸念によりリスク回避姿勢が強まったことや、米国の利下げ観測の高まりにより日米金利差が縮小したことなどをを受けて、円高米ドル安が進みました。

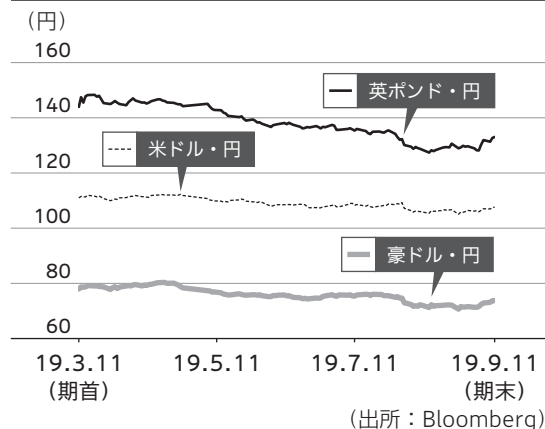
・英ポンド円

当期末は前期末に比べて円高ポンド安となりました。米中貿易摩擦の激化懸念により市場のリスク回避姿勢が高まり、円が買われたことや、英国のEU離脱を巡る不透明感から、ポンドが売られたことなどをを受けて、円高ポンド安となりました。

・豪ドル円

当期末は前期末に比べて円高豪ドル安となりました。米中貿易摩擦の激化懸念やRBA(オーストラリア準備銀行)による利下げ観測の高まりなどをを受けて、円高豪ドル安となりました。

為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%の比率を基準として組入れております。

期を通じて、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」への投資比率は、概ね各50%の比率を維持しました。

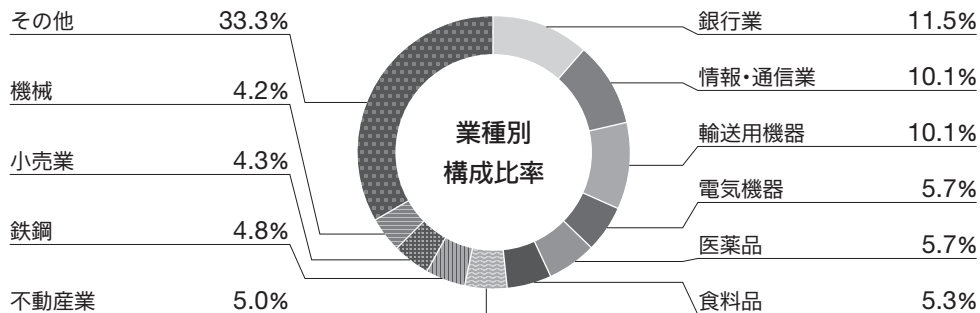
📊 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、99.5%です。

期末時点での業種別構成比率はグラフのとおりです。

当期間中に独自の調査分析に基づく割安度にしたがって銘柄入れ替えを行いました。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、東レ、セイコーエプソン、日本郵船などです。主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、東日本旅客鉄道、中部電力、日本電信電話などです。



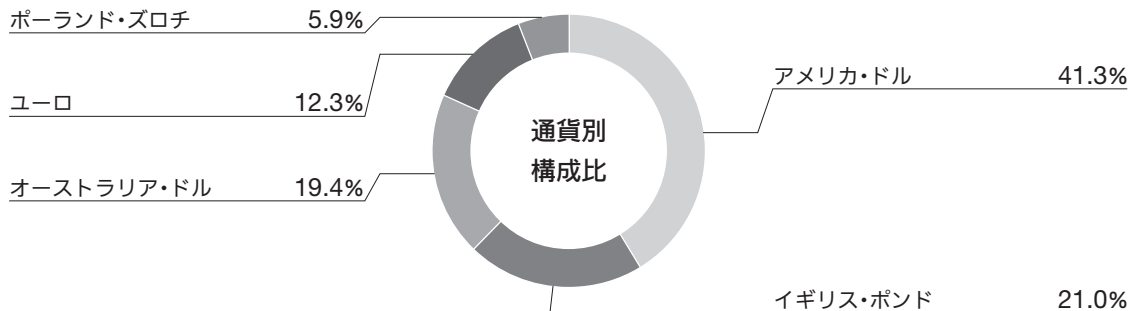
注1. 比率は、第69期末における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。



損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

当マザーファンドでは、分散投資の考え方にに基づき、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%程度、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度としたポートフォリオ構成としました。



注1. 各グラフの比率は、第69期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額の水準等を勘案し、合計90円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第67期 2019.3.12~2019.5.13	第68期 2019.5.14~2019.7.11	第69期 2019.7.12~2019.9.11
当期分配金	30	30	30
(対基準価額比率)	0.309%	0.305%	0.308%
当期の収益	30	30	17
当期の収益以外	—	—	12
翌期繰越分配対象額	2,873	2,889	2,878

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは債券の利子収入や株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

● 今後の運用方針

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

今後も、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%程度の比率で組入れて運用し、信託財産の着実な成長を目指します。外貨建て資産に関する為替ヘッジについては原則行いません。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド




環境問題への取組状況をもとに信用リスクや流動性リスク等を勘案して絞り込まれた投資候補銘柄群の中から、当社独自の分析に基づいて割安度の高い銘柄に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、ポートフォリオ全体の配当利回り水準も勘案し、銘柄選択を行います。今後もこの運用方針を堅持し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

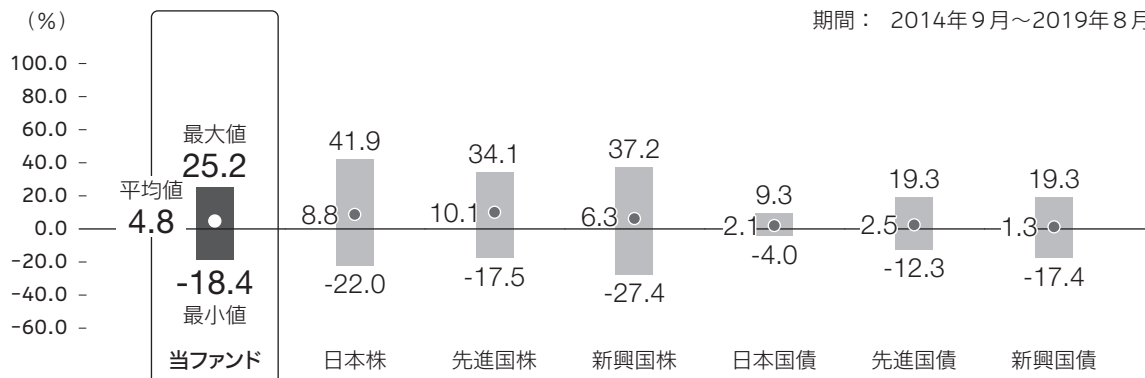
国別配分では、相対的に投資魅力が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。
主要投資対象	 イオン好配当グリーン・バランス・オープン 「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」 受益証券
	 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド わが国の金融商品取引所に上場されている株式
	 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
運用方法	① 日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資します。 ② 環境問題に積極的に取り組んでいる日本の企業の株式に投資します。 ③ 主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資します。 ④ 利息・配当収入等、売買益（評価損益を含みます。）等を原資として分配します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行い、毎年3月、9月の決算時には売買益（評価損益を含みます）を上乗せして分配することを基本方針とします。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2014年9月～2019年8月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は19～20ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

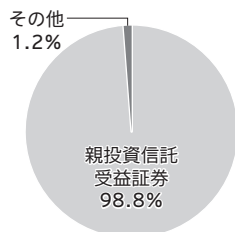
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第69期末 2019.9.11
損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド	50.7%
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	48.1%

注. 比率は第69期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第69期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第67期末 2019.5.13	第68期末 2019.7.11	第69期末 2019.9.11
純資産総額	745,270,935円	774,181,220円	777,449,279円
受益権総口数	769,621,842口	790,187,852口	801,629,623口
1万口当たり基準価額	9,684円	9,797円	9,698円

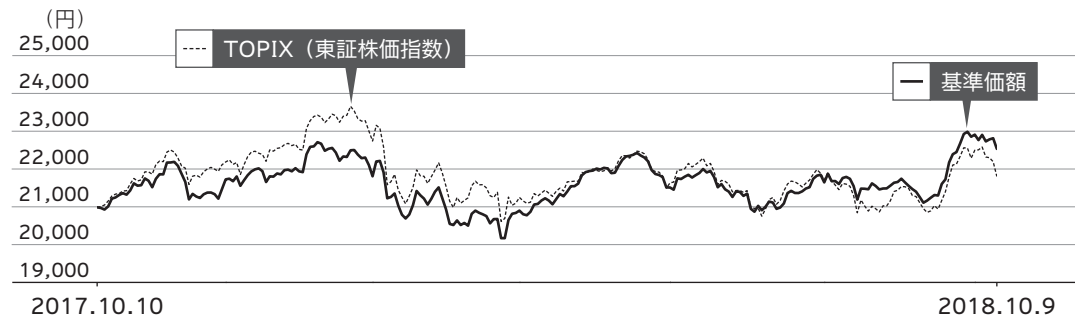
※ 当作成期間（第67期～第69期）中における追加設定元本額は98,699,063円、同解約元本額は53,017,689円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

基準価額の推移



- 参考指標（TOPIX（東証株価指数））の推移は、2017年10月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

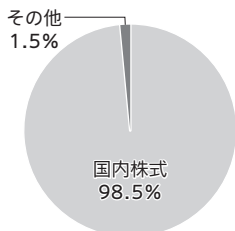
項目	2017.10.11~2018.10.9	
	金額	比率
売買委託手数料	21円	0.097%
(株式)	(21)	(0.097)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	21	0.097

期中の平均基準価額は21,668円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 沢井製薬	医薬品	日本円	日本	5.7%
2 KDDI	情報・通信業	日本円	日本	5.6%
3 日本電信電話	情報・通信業	日本円	日本	5.5%
4 日本たばこ産業	食料品	日本円	日本	5.2%
5 日本テレビホールディングス	情報・通信業	日本円	日本	5.1%
6 セブン&アイ・ホールディングス	小売業	日本円	日本	5.0%
7 東日本旅客鉄道	陸運業	日本円	日本	4.7%
8 ツムラ	医薬品	日本円	日本	4.7%
9 ローソン	小売業	日本円	日本	4.1%
10 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	3.7%
組入銘柄数		41銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

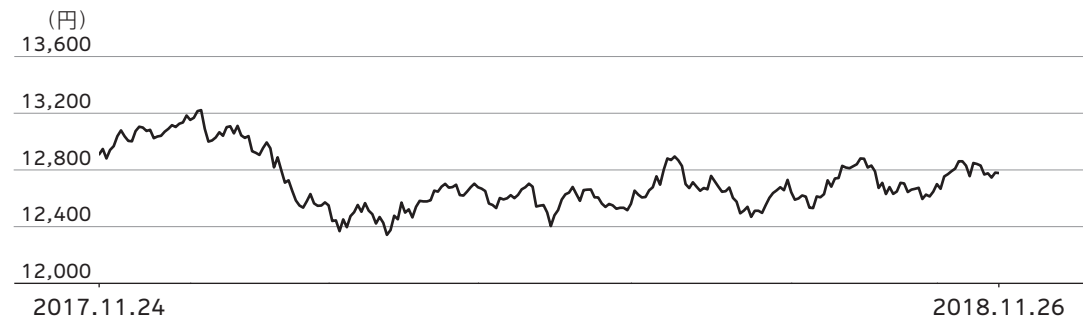
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2018年10月9日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

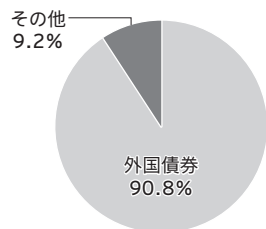
項目	2017.11.25~2018.11.26	
	金額	比率
その他費用	9円	0.070%
(保管費用)	(8)	(0.067)
(その他)	(0)	(0.003)
合計	9	0.070

期中の平均基準価額は12,720円です。

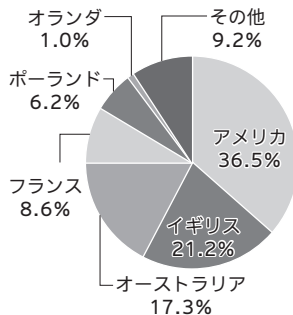
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 UK GILT 6.0 281207	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	16.0%	
2 Treasury 7.625 250215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	14.3%	
3 Treasury 6.25 230815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	13.3%	
4 AUSTRALIA 5.75 220715	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	9.7%	
5 AUSTRALIA 5.75 210515	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	7.6%	
6 FRANCE 6.0 251025	国債証券	ユーロ	フランス	6.5%	
7 UK GILT 8.0 210607	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	5.2%	
8 POLAND 5.75 220923	国債証券	ポーランド・ズロチ	ポーランド	4.2%	
9 Treasury 7.875 210215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.9%	
10 Treasury 8.75 200815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.7%	
組入銘柄数		15銘柄			

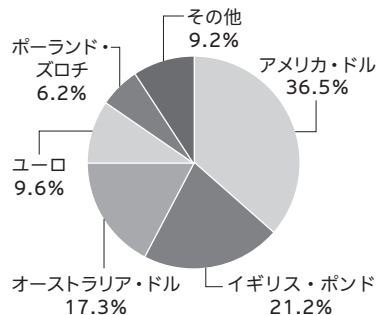
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2018年11月26日)現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

検索

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0907/price.html>

The screenshot shows the SOMPO website interface. At the top, there is a navigation bar with 'HOME', 'ファンド情報', 'マーケット・ファンドレポート', '当社の資産運用', and '会社情報'. The main content area is titled 'イオン好配当グリーン・バランス・オープン (愛称 みどりのふたば)'. Below the title, there is a table of documents:

交	交付目論見書 (2019.06.11)	運交	交付運用報告書 (2019.03.11)	休	海外休業日 (申込不可日) 2019年
請	請求目論見書 (2019.06.11)	運全	運用報告書 (全体版) (2019.03.11)		
		月	最新月次レポート (2019.08.30)		

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。